

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさまSun (保育所等訪問)		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 20日		～ 令和6年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	令和6年 10月 20日		～ 令和6年 12月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公認心理師資格を有する30年以上の経験を持つ職員が定期的に訪問している。また、その職員より、訪問スタッフが助言を受けながら、訪問先と支援を考えている。	定期的に、公認心理師資格を有する30年以上の経験を持つ職員が訪問することで支援方法を見直ししたり、支援の終了や継続を判断できるように努めている。訪問スタッフが、法人内外の専門的な研修会に参加することはもちろん、公認心理師資格を有する0年以上の経験を持つ職員と連携を図りながら、より専門的なアドバイスや支援方法を考え、更なる専門性の向上に努めている。	公認心理師資格を有する30年以上の経験を持つ職員による事業所内で研修を行い、職員の専門性をより高められるようにしている。
2	集団保育(教育)を経験し、尚且つ療育経験の長いスタッフが訪問できるようにしている。また、状況やケースによって、同じスタッフが訪問できるようにしたり、様々なスタッフが交代で訪問できるようにしたりと工夫している。	集団保育(教育)を理解した上での集団でできる支援を専門的に考えられるように努めている。	同法人の保育園へ訪問し、集団での保育を常に学べる環境を今後も作っていく。法人全体での研修会を開催し、集団での支援を学べるようにしている。
3	定期的に(月に1～2回)状態に合わせて訪問できるようにしている。	月末に次の訪問の計画を立て、訪問先と課題やニーズに合わせて、活動内容を見ながら日程調整や訪問時間を計画するようにしている。	訪問スタッフの人材確保できるように、指導や研修を行い、訪問スタッフを増やせるようにし、柔軟に訪問できるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児の保護者に、リアルタイムに報告することが難しいことがある。	保護者へ報告ができる日程が合わないことがある。	急ぎの内容の場合は電話にて報告するようにしている。
2	保育所等訪問支援へ訪問できる人材確保が難しく、更なる件数を訪問することが難しい場合がある。	保育所等訪問支援へ訪問できるスタッフのスキルアップや経験を増やすまでに時間を要する。	保育所等訪問支援へ行く際に、経験の長いスタッフに経験の浅いスタッフを同行させたり、研修等に参加してもらったりし、専門性を高められるようにしている。
3			

事業所名	おひさまSun（保育所等訪問）
------	-----------------

公表日 令和7年 1月 31日

令和6年 11月 1日

利用児童数 15

回収数 12

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4			8		決まった教具や教材はありませんが、個別の様子を見て必要な際は提案させて頂くこともあります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	9			3		仕切りのある面接室で対応させて頂いています。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	11	1				契約や個別支援計画の面談の際に、目的を説明させて頂いています。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	10	2			「この日でした」と過去形の時もある。	毎月、紙面やメールにて日程をお知らせしていますが、変更等があった際にご連絡が遅くなりました。なるべく早くお伝えしていきますが、また、お気づきの点等ありましたら、お知らせ下さい。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	12					職員1人につき、1～3名の様子を丁寧に見ることができるよう、体制を整えています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	2		1		専門性のある支援を訪問先と一緒に考えていけるように努めています。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	1				ニーズや課題を客観的に捉えた保育所等訪問支援計画の作成を心掛けています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	7	2	1	2		保育所等訪問支援計画には、聞き取りを行った訪問先のニーズを記載していません。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9			3		具体的な支援内容を設定するように心掛けています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10			2		保育所等訪問支援計画に基づいて、支援方法を考えていけるように努めています。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	8	1		3		訪問先の方針や職員体制を考慮した支援方法を訪問先と一緒に考えていけるように努めています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11			1		契約時に説明させて頂いています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					契約や保育所等訪問支援計画の面談の際に、目的を説明させて頂いています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	9	1		2		児童発達支援での年3回の懇談会と併せて随時相談を設け、その都度話をしていくことが当事業所のペアレント・トレーニングと考えています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	9	2		1		訪問した際の内容や子どもの状況等については、訪問先と保護者に報告書をお渡しし、共通理解を図っています。必要がある際には、面談時の時間を設けて頂きます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2				随時相談等、対応できるようにしています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1				共感的な支援を心掛けています。
	18 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	2				保護者からの相談や申し入れがあった際や申し入れが無くても定期的な面談をし、話をする機会を設けています。また、要望があった際はできるだけ早めに面談をするように心掛けています。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	2		1		保護者と一緒に考えたり、関わり方等の話をしたりしながら意思の疎通や情報伝達をしています。
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	9	1		2		訪問先施設から相談があった際はすぐに対応をし、すぐの返事が難しい場合はお電話等でお伝えするようにしています。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	9	2		1		訪問先施設とは、日頃から連携を取っており支援内容についても話し合いをしています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	11				子どもの様子を詳しく教えてもらい、有難い。(未回答1)	ご意見ありがとうございます。これからも報告書や面談を通して情報の共有を行って参ります。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6			6		ホームページに事業所の自己評価の結果について公表させて頂きます。毎月、訪問支援の報告書をお渡ししています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			1		契約時に説明させて頂いています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	8			4		訪問先施設とは、日頃から連携を取っており緊急時に関しても連絡を取り合っています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			2		子どもの安全を最優先した上で訪問支援を行っています。また、体調にも配慮し状況によっては訪問日を変更することもあります。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	11			1		訪問先では、観察を行いながら温かく見守っています。笑顔で挨拶を返してくれる姿も見られます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	11	1				ご意見ありがとうございました。今後も訪問先で子どもたちが困らずに過ごしていけるように努力して参ります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年

1月 31日

おひさまSun（保育所等訪問）

利用児童数 令和6年11月1日

15（4事業所）

回収数4

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・経験年数が浅い職員にとっては、とても分かりやすいアドバイスで助かっている。 ・保育室の状況を見て、できそうなことのアドバイスと何へのアプローチなのか詳しく分かりやすい言葉で伝えてくれる。 ・専門的な知識でアドバイスを頂き、具体的に教えて頂いている。 ・各園児の課題を的確に把握され参考になります。 	集団生活の中で取り入れやすい具体的な支援内容を助言できるように心掛けています。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい例を交えて支援に関して沢山のアドバイスを頂いている。 	常に外部や内部の研修に参加し、月に一度、職員内での勉強会や専門職の先生からの助言も取り入れながら学ぶ機会を設け知識の向上に努めて参ります。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・保育中もタイミングを見て話し掛けて下さり、具体的に答えてくれる。 ・忙しい中にも時間を作ってもらい答えてくれる。 ・適宜対応で有難いです。 	保育中に回答が難しい時もありますので、その際は訪問終了後に質問等に回答致します。
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・本児に合った支援方法を教えてくださるので、本児・保護者共に困りごとの解消に繋がっている。 ・食具や椅子のアドバイスや他児と同じ活動ができるような工夫を教えてもらった。 ・軽減できています。 	随時相談等、対応できるようにしています。必要に応じて電話でも連携を図って参ります。
5 事業所からの支援に満足していますか。	3			<ul style="list-style-type: none"> ・連携を取って下さるので有難い。 ・連携の取りやすい先生の人柄もあり、一緒に保育をしている気持ちになり大きな支えになっている。 (未回答1)	ご意見ありがとうございました。
その他のご意見	ご意見を踏まえた対応				
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問して頂いた内容については、園で共有して保育・指導に生かしている。保護者や園児本人の困り感について、それぞれの立場で情報交換できることは有難い。 ・言葉が増えたり、身の回りの基本的な事もできるようになり、成長を感じている。本児がホワイトボードの視覚支援で朝の準備ができると思う。また、保護者の支援も必要不可欠なので引き続き連携を取りながら情報共有をしたい。 					

事業所名		おひさまSun（保育所等訪問）		公表日	令和7年 1月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 運営・ 整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。		○		決まった教具や教材はありませんが、個別の様子を見て必要な際は提案させて頂くこともあります。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員1人につき、1～2名の様子を丁寧に見ることができるよう、体制を整えています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の振り返りや月1回の会議を通して見直しを行っています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今後も、年1回継続してアンケートを行い、業務改善に繋げて参ります。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今後も、年1回継続してアンケートを行い、業務改善に繋げて参ります。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部に評価をお願いしていませんが、第三者委員会にて評価を聞く機会を設けています。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		常に外部や内部の研修に参加できるようにしています。専門職の先生からの助言も取り入れながら学ぶ機会を設けています。また、月に一度、職員内での勉強会をしています。	
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		連絡表や個別支援計画書、モニタリング等を通してニーズに基づく計画作成を行っています。必要に応じて感覚プロフィール等を実施をして評価しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に保育所等訪問支援計画を全職員が確認を行い、共通認識の元、支援ができるようにしています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		保育所等訪問支援計画には、聞き取りを行った訪問先のニーズを記載しています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保育所等訪問支援計画を全職員が確認を行い、共通認識の元、計画に沿った支援ができるようにしています。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		外部で行われたアセスメントツール等結果も情報共有して支援の参考にしています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		具体的な支援内容を設定するように心掛けています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		同上（11）	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ケースカンファレンスを行い、共通理解の元対応できるようにしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問終了後にスタッフ間でも振り返りを行っています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に担当者も訪問先の理念や支援手法を尊重するようにしています。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		支援方法を含めた個人記録を取り、報告書を作成し支援に繋がれるようにしています。		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリング、面談を行い日々の話や内容等も反映して保育所等訪問支援計画を作成、見直ししています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に担当者も参加するようにしています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関との会議や定期的な情報交換を通して、連携が図れる体制を作っています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学先が決定した後、移行支援シートを用いて連絡会を行い、連携を図っています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	○		常に外部の研修に参加できるようにしています。また、専門職の先生からの助言も取り入れながら学ぶ機会も設けて質の向上に努めています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		法人関係者が子ども・子育て会議の委員、管理者が子ども部会の委員になっています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		訪問活動終了後保護者と振り返りを行っています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		児童発達支援や放課後等デイサービスを利用のご家庭は懇談会、活動の振り返りや随時相談、保護者と一緒に活動する機会を設け、話をしていくことが事業所のペアレント・トレーニングと考えています。O・T・Sのお話しを聞ける機会を設けています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に書類に基づいて説明を行っています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		契約の際に、目的を説明させて頂いています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		連絡表や個別支援計画書、日々の振り返り等を通して子どもや保護者のニーズに基づく計画作成を行っています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		訪問後の振り返りや個別支援計画を通して、話す機会を設けています。希望がありましたら、随時面談を行っています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		訪問後の振り返りや個別支援計画を通して、話す機会を設けています。希望がありましたら、随時面談を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		児童発達支援や放課後等デイサービスを利用しているご家庭は行事を通して保護者同士やきょうだい同士が交流できるように家族で参加をして頂いています。	父母の会は設立していませんが、保護者同士のコミュニケーションが図れるように心掛けて参ります。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		随時相談等、対応できるようにしています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ等でお知らせしています。おたよりを毎月25日にはアップできるよう心掛けています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約の際に説明し、確認をしています。また、ホームページに写真をアップする際は随時確認するようにしています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		家族連帯の為、保護者と一緒に考えたり、関わり方等の話をしたりしながら意思の疎通や情報伝達をしています。	
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		随時相談等、対応できるようにしています。必要に応じて電話でも連携を図っています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		報告書を作成し、必要に応じてカンファレンスを行っています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		報告書をお渡ししていますが、保護者へ直接、訪問先の様子や支援内容をお伝えし共有しています。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約の際に説明し、確認をしています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		随時、相談等、対応できるようにしています。また、専門士の助言も頂きながら、返答できるようにしています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		掲示等を通して周知しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		訪問先施設とは、常日頃から連携を取っており非常時、安全に関する研修や訓練を行っています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		外傷記録簿や個人日誌に記載し、朝礼で伝達を行うことで再発防止に努めています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修会への参加等、必要に応じて関係機関と連携を図っています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			基本、身体拘束は行っていません。